

リサイクルの基本

リサイクルのまち大月を目指して
～分別ポイントを確認しましょう～

飲料用のアルミ缶・スチール缶

○もう一度アルミ缶・スチール缶にリサイクルされたり、鉄鋼製品になったり
「何にでも」「何度でも」リサイクルされています

分別ポイント ※缶詰やミルクの缶は不燃ごみです

- ①リサイクルマークのあるものを出す（マークのない缶は不燃ごみ）
- ②中を水でよく洗い流す
（中の汚れや異物が入っているとリサイクルが不可能になります）
- ③缶はつぶさない
- ④キャップは必ずはずして「不燃ごみ」
- ⑤アルミ缶とスチール缶を分別する必要はなし



ペットボトル

○もう一度ペットボトルにリサイクルされたり、石油原料となってペットボトル
再利用品としてさまざまな製品に生まれ変わっています

分別ポイント

- ①リサイクルマークのあるものを出す（マークのないボトルは可燃ごみ）
- ②中を水でよく洗い流す
（中の汚れや異物が入っているとリサイクルが不可能になります）
- ③キャップは必ずはずして出す
（※はずしたキャップは小袋に入れ、ペットボトルと同じ袋に入れて出す）
- ④ボトルはつぶさない
- ⑤ラベルは無理にはがさなくても可
- ⑥キャップをはずした後に残るリングは無理に取る必要はなし



白色の食品トレイ

○もとのプラスチック原料（石油原料）にリサイクルされています

分別ポイント

- ①水でよく洗い流す
- ②「白」以外で色や柄が付いた食品トレイは「可燃ごみ」



牛乳パック

保存版

○牛乳パック約6枚からトイレトペーパーが1個できます

分別ポイント

- ①「洗って・開いて・乾かす」
- ②キャップや注ぎ口が付いているものは、切り取る
- ③内側にアルミ箔が貼ってあるものは「可燃ごみ」



飲料用のガラスビン

○「ガラスビン」から「ガラスビン」に無駄なくリサイクルされています

分別ポイント

- ①キャップは必ずはずして「不燃ごみ」
- ②中を水でよく洗い流す
（中の汚れや異物が入っているとリサイクルが不可能になります）
- ③ラベルは無理にはがさなくても可
- ④リサイクルできるガラスビンは「飲料用のガラスビン」
（※油の入ったビン、焼肉たれの入ったビンなど飲料用以外は「不燃ごみ」）
- ⑤割れたガラスビンは「不燃ごみ」



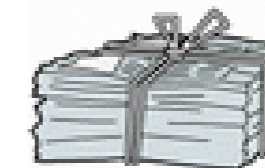
新聞・ダンボール・雑誌・雑紙

○紙は再生紙としてさまざまな製品に生まれ変わっています

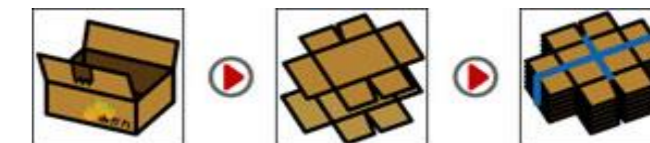
分別ポイント

種類別に分別して、紐等で縛ってください

「新聞」
折込チラシは、新聞と併せて出す



「ダンボール」
プラスチックや金属類ははずして出す



「雑誌・雑紙」
①包装紙、紙袋、紙箱、メモ・コピー用紙、名刺、はがき類、封筒、
ポスター、カレンダー、チケット、お菓子の空き箱は
雑誌と併せて縛る、または紙袋に入れて出す



②カーボン紙、感熱紙、ダイレクトメールのビニール袋、
ビニールカバーは分別して「可燃ごみ」で出す